

大切にする力・自分で表現する力・チャレンジする力

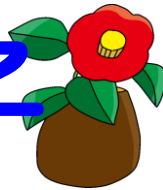
2024 年

2月 27 日

No.22

文責：永野

なかすじっ子



四万十市立中筋小学校 学校通信

中筋子どもと共に育つ会・学校運営協議会への報告

2月15日（木）17：30 から『中筋子どもと共に育つ会』引き続いて『学校運営協議会』を開催しました。児童会代表の5年生の さんと さんが後期からの取組について、続いて中筋保育所、中筋小学校と今年度の取組を報告しました。

児童会からは、児童会として取り組んできたこと、朝会での司会を全体に聞こえる大きな声を出したり、立ち位置を考えて進めてきたりしてきたこと、「子どもフェスティバル」での進行役や朝のあいさつ運動を続けてきたことを伝えました。育つ会の委員さんから、中筋小学校の大事な約束「自分がされていやなことは、人にしない 言わない」について、「言われて嫌なことのはずなのに、自分は別にいい。という人がいたら何といいますか。」と質問をされると、「自分は良くて、相手は嫌かもしれないので言わないように注意します。」とそれぞれに回答していました。

中筋小学校としては、1月中旬から行った学校評価アンケートの結果も踏まえて報告しました。委員の方から、「今年度の課題を受けて目標が変わっていくのか、またどのように取り組むのか。」と質問がありました。学校目標が大きく変わったり、3つの力の取組が大きく変わったりすることはありませんが、取り組み方として、今年度課題のあった点は強化していく必要があること、特に「あいさつ」については児童会とタイアップしながら全校での取り組みにしていきたいことを回答とさせていただきました。

学校評価アンケートの結果については、3月2日（土）の学級懇談で配布の予定です。ぜひご参加いただきますようお願いします。

卒業記念植樹 もみじ湖へ 6 年生

2月13日、今年度も「横瀬川ダムもみじ植樹体験」へ6年生が参加しました。ダム利活用調整協議会の方々の計画で、将来の地域の担い手への期待を兼ね、地元小学生の卒業記念植樹として実施しているそうです。中筋小学校は、ダムが建設されているころからずっと関わり児童が参加していることをお聞きしました。

中筋小学校がもみじの苗木を2本、山奈小学校さんが3本植樹しました。NHK放送局のTVを見られた方もおられると思います。

土を掘り起こしやすいように前段の準備が万端で、当日は苗木屋さんの指導がありながらの植樹でした。中筋小学校は3人で1本を自分たちでやり切りました。添え木を立てる所は



大人が手を貸しましたが、基本自分たちで植樹しました。

何年か後にふと思い出してこのもみじを見に行きたくなるのではないかと思います。立派なプレートが立っています。

西中校区 4 校交流会 5 年生

今年度 2 回目の 4 校交流会（具同小・八束小・東中筋小・中筋小）を 2 月 15 日に具同小学校で行いました。

今回は、全員（76 名）でジャンケンの仲間づくりをしたり、5 グループに分かれて『なんでもバスケット』（フルーツバスケット）をしたり、陸上記録会へ向けて競技の練習をしたりして、他校の友達と距離を近くして相手を知ることが中心でした。今回はグループで行動し協力することを「ボッチャ」を通じて行いました。グループは 16 グループあるので、中筋小 5 年生 6 名は同じ学校の人グループにはおらず、他校の人と会話をする機会が否応なく訪れます。

中学校進学は選択肢がありますが、同じ学年の他校の友達とコミュニケーションをとる機会を持つことは貴重な時間です。6 人がそれぞれに笑顔でボッチャを楽しんでいました。



地震避難訓練 掃除中

今年度 3 回目の地震の避難訓練を 2 月 22 日に行いました。今までと今回違う点は、雨が降っていたこと、掃除中、訓練の予告なし という点です。

実際地震になると停電になる可能性が大きいですが、しかし、今回は避難する場所を放送で指示することにしました。どれだけ放送を注意深く聞いているかを把握したいからです。避難場所は今回は体育館としましたが、いつも校庭へ避難しているので、当たり前のように校庭へ出ようとした児童がいました。

地震でも火災でも避難するときは「お・は・し・も」の約束が守られていましたが、今回は残念ながら「は」しない・「く」やべらないが守られていませんでした。笑いながら避難している様子も気になりました。校舎内では歩いてしゃべらずに行動し、校外へ出てから走るという約束でしたが、校舎内で走っている人、必要のない会話が聞こえてきました。

いつもと違う避難の仕方になると、動揺もあると思いますが、どんな時も真剣に取り組むこと、そうすることがいざというときの力になること、「お・は・し・も」を守ることを話しました。避難訓練の時間帯や避難の場所等いつも同じではなく、様々な場合で今後も避難訓練を行います。



読もつか
高知新聞 2/23

